

手塚たかひろ

平和・自治・市民

議会報告

No. 26

2016年2月15日

連絡先 枚方市大垣内町2丁目8番27号
シンエービル別館2階

Tel-Fax 072-846-8780

自宅 枚方市宮之下町 13-12

携帯 080-1509-0706

ブログ <http://ameblo.jp/shiminnokai-tezuka-t/>

HP <http://www.tezukatahiro.info/>

市民の運動の成果

香里ヶ丘中央公園の美術館建設白紙へ

1月20日 枚方市議会全員協議会が開催されました。伏見市長から、美術館建設問題で新たな方針が示されました。1年を超えて建設着工ができていないため、寄付者に「現計画地での建設は困難で白紙に戻すことを申し入れ」、

「現金寄付を受け、総合文化施設用地内に美術館を整備」する市の提案について、「茶室の設置、設計監修への関与」などの要望・条件で受け入れる回答を昨年12月1日に寄付者から受けた。そのため、枚方市駅北側に約7億円（寄付者からは6億円）の経費で美術館を建設するとのこと。

香里ヶ丘中央公園への美術館建設を白紙に戻すことは、市民の粘り強い取り組みの成果です。

しかし、市民無視の建設計画のため市民の納得を得られずこれまで解決できなかったことの反省がない伏見市長の姿勢では、これからの美術館建設も、市民や議会の合意を得るのは難しいと思います。今こそ、市民参加で「美術館がいるのか。どこにどのような美術館を造るのか」の検討が必要です。



手塚の質問と答弁の要旨

Q 住民無視で香里ヶ丘中央公園への美術館建設ありきとの進め方が、地元の方々が反対運動をせざるを得なくなった原因だと考えるが、事態をここまで長引かせた要因は

A 市議会において議決いただいた案件を座り込みなどの妨害行動でくつがえされることは、到底容認できるものではなく、あってはならない

*** 質問に正面から答えていない。また、前市長の市民無視の美術館建設について真摯な反省と総括がない**

Q 何故美術館を造るのか、どのような美術館が必要かの基本理念を示すことが必要。どのような理念の美術館を造ろうとしているのか

A 美術館は、市長の掲げる教育の充実の観点からも寄与する施設。市駅前の立地となることから交通アクセスの利便性が向上し、より集客が見込める

*** 美術館についての基本理念がない。寄付されるから作るでは市民に愛される美術館はできない**

Q 美術館の施設整備費は、いくらか。寄附者からの寄付金は6億円か。また、付帯民間施設費はいくらか

A 整備費については、現時点での考え方を示した。今後の進捗により報告する

*** 建設費がどれだけかかるのか、具体的な試算が示されていない**

Q 総合文化施設との一体管理により、美術館の運営経費は、香里ヶ丘中央公園案と比べてどの程度縮減されるのか

A 総合文化施設との一体管理による効率化によって削減が見込まれるが、詳細については、総合文化施設の運営計画で改めて示す

*** 現段階では、運営経費がどれくらいかかるのか明らかでない。財源をどうするのかも不明**

<p>Q 寄附者からの要望や条件を、どう考えているのか。寄附者の条件の茶室の位置付けは。また、植栽・建材の使用の意味、特定の業者指定につながらないのか、入札の公平性を侵害しないのか。「使った経費の取り扱い」とは、何を意味するのか</p>	<p>A 市議会のご理解を前提に、条件等について整理する必要がある。茶室や植栽を含め、寄附者からの条件は、整理する必要がある。使った経費とは、寄附者がこれまでに美術館整備において負担した費用</p>
---	--

***寄附者の条件の意味が不明 寄附者に対して駄目なものはダメと言えるのか不安だ**

<p>Q 総合施設の美術ギャラリーとの役割分担は。美術館にギャラリーを持ってくるとか、逆美術館を総合文化施設の中に入れるなど、より低コストの建設案はどうか</p>	<p>A 美術館は、博物館法に基づく施設であり、設備面においても美術ギャラリーとは異なる。総合文化施設と美術館を一体的に整備することで、事務室等の共用による面積縮減など、建設費の縮減を図れる</p>
--	--

***単体としての美術館建設に固執しすぎ。より安くできる方法を考えるべき**

<p>Q 香里ヶ丘中央公園の森のフェンスの取り外し、市役所や南部生涯学習市民センターの掲示物の撤去の目処は</p>	<p>A バリケード並びに市役所や南部生涯学習市民センターの掲示物は、美術館整備の方向性が整理できた段階で適切に対処する</p>
--	---

***香里ヶ丘中央公園での美術館建設はほぼなくなったので、市の責任で寄附者を説得して早期撤去すべき**

<p>Q 進捗状況について 地元校区コミュニティ協議会や市民への説明会を行うとのことだが、地元とはどこのことか。また、市民への説明会はどのような形で、誰を対象に行うのか</p>	<p>A 地元校区コミュニティ協議会とは、開成・香陽・五常・香里の近隣4校区コミュニティ協議会。今後は、地域や市民にも説明を行う</p>
---	---

***市駅北側に作るとしたら4校区への説明では不十分**

<p>Q 広く全市を対象にした説明をすべきだ。また、市民説明会も短時間で打ち切らず、市民の意見を丁寧に聞くことができるやり方を要望する 美術館設置条例や覚書は、どのように扱われるのか</p>	<p>A 枚方市立美術館条例や覚書は、美術館整備の方向性が整理できた段階で、市議会に説明し、必要な対応を行う</p>
--	---

***現在の美術館設置条例は廃止する必要がある**

<p>Q 美術館建設について市民の声をどう反映させようとしているのか。市民参加の検討会議などをつくって、市民とともに美術館、総合文化施設をつくる考えは</p>	<p>A 市議会へのご報告と合わせて、今後、市民を対象とした説明会を開催する予定</p>
--	---

市民とともに考え市民とともに作る美術館との発想が希薄だったことが住民無視の美術館建設につながり、市民の理解を頂けなかった。少し腰をすえて、市民参加の検討会議の設置を改めて要望する。フェンス、展示物の早期の撤去、できるだけ早い時期に市民への経過報告、意見聴取の実施を強く要望しました

政務活動費は受け取っていません

受け取った議員報酬の半額を大阪法務局に供託しています

←1月24日25日 沖縄名護市辺野古新基地建設反対行動
(キャンプシュワブ前)に参加しました

